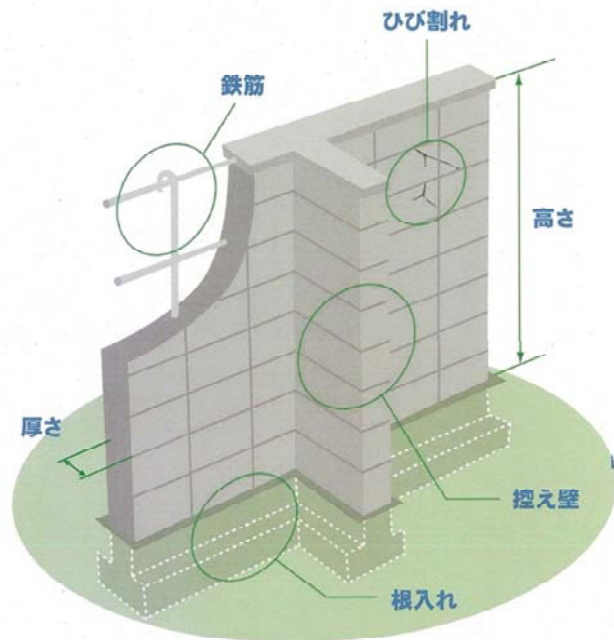


「塀等の点検のチェックポイント」

■ブロック塀 点検のチェックポイント

- 1. 塀は高すぎないか
 - ・塀の高さは地盤から 2.2m 以下か。
- 2. 塀の厚さは十分か
 - ・塀の厚さは 10cm 以上か。(塀の高さが 2m 超 2.2m 以下の場合は 15cm 以上)
- 3. 控え壁はあるか。(塀の高さが 1.2m 超の場合)
 - ・塀の長さ 3.4m 以下ごとに、塀の高さの 1/5 以上突出した控え壁があるか。
- 4. 基礎があるか
 - ・コンクリートの基礎があるか。
- 5. 塀は健全か
 - ・塀に傾き、ひび割れはないか。



<専門家に相談しましょう>

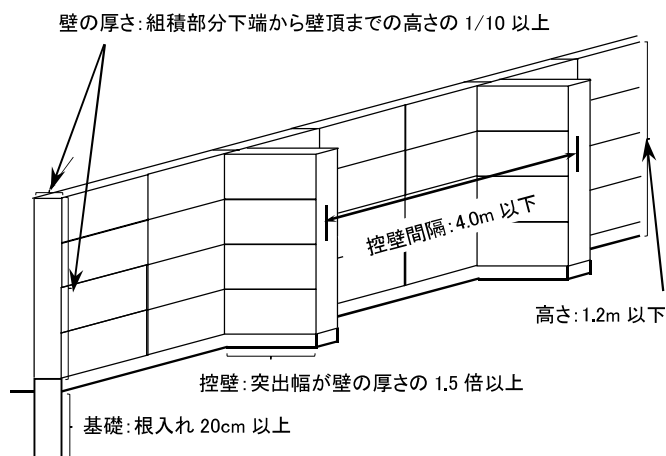
- 6. 塀に鉄筋が入っているか
 - ・塀の中に直径 9mm 以上の鉄筋が、縦横とも 80cm 間隔以下で配筋されており、縦筋は壁頂部および基礎の横筋に、横筋は縦筋にそれぞれかぎ掛けされているか。
 - ・基礎の根入れ深さは 30cm 以上か。(塀の高さが 1.2m 超の場合)

出典：パンフレット「地震からわが家を守ろう」日本建築防災協会 2013. 1 より一部改

■組積造の塀 点検のチェックポイント

※組積造の塀とは、レンガ造、石造、鉄筋が入っていないブロック塀などのこと

- 1. 高さは **1.2m 以下** である。
- 2. 壁の厚さは、組積部分下端から壁頂までの高さの **10分の1以上** である。
- 3. **長さ 4m 以下** ごとに、壁面からその部分の壁の厚さの **1.5 倍以上** 突出した**控え壁**がある。(【2】の基準の壁の厚さが 1.5 倍以上ある場合、控え壁がなくても【3】はチェックしてください。)
- 4. 基礎の根入れ深さ(地中部分の深さ)が **20cm 以上** である。
- 5. 著しいひび割れ、破損又は傾斜がない。(ぐらつき、傾斜がない。ブロックのずれがない。)



※上記チェックリスト全てにチェックがされたものが、安全な塀です。